

公益社団法人 日本交通計画協会

2022年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時 2022年8月29日（月）13時30分より14時43分まで

2. 開催場所 公益社団法人 日本交通計画協会  
3階 B・C会議室（Web開催併用）  
所在地：東京都文京区本郷3丁目23番1号  
（Web会議は、Web会議システム「ZOOM」を使用）

3. 理事現在数 6名

監事現在数 1名

4. 出席理事数 6名（Web出席3名）

出席監事数 1名

（出席理事）谷口守、石川次男、岸井隆幸、川畑信之、飯塚義和、  
石川雅康

（出席監事）曾田祐司

5. 開会

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、2022年度第1回理事会はWeb会議システムを使用し開催するにあたり、出席者理事、監事、全員の音声及び映像が共有されていることを確認した。本日の理事会は定款第32条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

代表理事 谷口守は定款第31条により、本理事会の議長を務めることとなった。

## 6. 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第34条第2項により議事録署名人は次の3名となった。

- ・代表理事 谷口守
- ・代表理事 石川次男
- ・監 事 曾田祐司

## 7. 議題

本日の議題は次のとおりであることを確認した。

### 承認事項

- 第1号議案 2021年度事業報告及び附属明細書の承認の件
- 第2号議案 2021年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認の件
- 第3号議案 役員年報酬限度額総額案の承認の件

### 報告事項

- 報告第1号 職務執行報告
- 報告第2号 総合交通体系整備研究積立資金の運用実績

## 8. 議事の経過及び承認の結果

承認事項として以下の議案について、承認を諮った。

- 第1号議案 2021年度事業報告及び附属明細書の承認の件
- 第2号議案 2021年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

議長は上記2議案につき一括して説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、第1号議案について、2021年度の事業報告と附属明細書の説明を行った。2021年度の社員異動状況、社員総会開催、理事会開催、刊行物等発行状況、講習会・シンポジウム等開催状況、広報・研究成果発表関係、国際会議・催し物等開催協力状況、研究部会活動、自主研究活動、受託調査研究事業状況を説明した。続いて第2号議案について、2021年度の計算書類の主な項目と金額を説明し、2021年度は事業全体として正味財産増減額は受託案件の工期延期の影響による経費の計上が重な

り大幅なマイナスとなったものの、公益法人の財務必要基準は満たし収支相償も実現できた旨を説明した。

また、2022年8月25日に曾田監事による業務監査及び会計監査を行い、監査の結果、特段の問題なしとの報告を曾田監事より受けた。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(飯塚理事) 正味財産増減計算書を見ると、受託案件の工期延期の影響を受けて当期経常増減額が大幅にマイナスになったとのことだが、受託案件が完成した場合、通常は売上も計上されるため利益も大きく出るのではないか。

(石川業務執行理事) 工期延期となった案件は、業務履行経費が多額であったためコストが嵩み、全体としてマイナスとなった。

(谷口代表理事) 過去に今回のようなマイナスの大きさだったことはあったか。

(石川代表理事) 2015年度期は、正味財産増減額で約3,500万円のマイナスだった。

(岸井理事) 受託案件で工期が会計年度をまたがるものはあるか。

(石川業務執行理事) 毎年、数件から十数件ある。工期が延期になり年度を繰り越す受託案件があっても、前年から繰り越された金額と、翌年に繰り越す金額が大体相殺される。今回のような影響を及ぼすような状況は少ない。

(岸井理事) 工期が会計年度をまたぐ場合の会計上の基準はどのようにおこなっているのか。

(石川業務執行理事) 完成基準で行っている。その時々都合により基準を変更することは不可能なため、従来より完成基準の会計処理を継続して行っている。今回のようなイレギュラーな受託案件が予想される場合は、影響が少なくなる方法を模索していきたい。

(岸井理事) 未成業務について、監査で案件ごとに係る時間配分を管理する等の指摘はないか。

(石川業務執行理事) 以前税務調査で、そのような期間配分をするよう指導を受けたため、完成基準を採用しつつ、現在の会計処理となった。

(川 畑 理 事) 発注が小割になればわかりやすいが、発注元の意向など分割発注が難しいこともあるがどうか。

(石川業務執行理事) 最近、2か年契約で発注されることもあるが、その場合初年度はいくら、次年度はいくらと最初から積算されて発注される傾向にある。

(川 畑 理 事) 今回の当期経常増減額のマイナスは、受託案件の金額の影響であるという説明でなく、その案件の特殊性を伝えたほうが伝わりやすいのではないか。

(石川業務執行理事) 総会での説明は工夫する。

(谷口代表理事) 事業執行報告で項目ごとに公益目的事業1, 公益目的事業2等と括弧書きで書かれているが、決算報告の正味財産増減計算書内訳表で、公益目的事業1, 公益目的事業2が何であるのかわかるが、この書き方でいいのか。

(石川業務執行理事) 従来記載がなかったが、内閣府の立入検査の際指導があり記載することになった。

議長は両議案につき個別にこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、2021年度事業報告及び附属明細書の承認の件及び2021年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認の件を承認した。

### 第3号議案 役員年報酬限度額総額案の承認の件

議長は上記議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、2021年度の役員年報酬限度額総額案においては前回理事会で承認いただいた収支予算と同額であり変更がない旨説明を行った。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(川 畑 理 事) 議案の表記について、最後の部分の役員報酬規程及び総会の承認の記載について難解な部分があるため修正したほうが良いのではないか。

(谷口代表理事) 規程が上位に存在し、その範囲内での総会・理事会承認であるならば、規程に従う旨の記載を議案の文頭に配置した方が、文章全体に掛かり良いのではないか。

(石川業務執行理事) 次の通り修正することでいかがか。

総会に上程する議案書：

「2022年度の役員<sup>の</sup>年報酬<sup>限度額</sup>は、定款に従い理事会において承認された本年度収支予算書のとおり総額2,043万円以内とする。その執行については、役員報酬規程に従い下記のとおりとする。理事については、常勤者分1,980万円、非常勤者分48万円、合計2,028万円とし、常勤者については、その範囲内において代表理事が理事会の承認を得て決定するものとし、非常勤者については役員報酬規程のとおりとする。非常勤監事については15万円とする。」

次年度以降の理事会議案書：

「2022年度の役員<sup>の</sup>年報酬<sup>限度額</sup>は、定款に従い理事会において承認された本年度収支予算書のとおり総額2,043万円以内とし、この総額については社員総会の承認を得るものとする。その執行については、役員報酬規程に従い下記のとおりとする。理事については、常勤者分1,980万円、非常勤者分48万円、合計2,028万円とし、常勤者については、その範囲内において代表理事が理事会の承認を得て決定するものとし、非常勤者については役員報酬規程のとおりとする。非常勤監事については15万円とし、社員総会の承認を得るものとする。」

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく総会へ上程する議案を修正するとともに、役員年報酬限度額総額案を承認した。

報告事項として、以下について報告を行った。

#### 報告第1号 職務執行報告

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により2022年度の間接報告として、刊行物発行业、国際会議・催し物等

開催協力、受託案件調査研究事業についての報告を行った。また、例年実施している講習会・シンポジウム等開催事業、海外調査研究事業について、新型コロナウイルス感染症の拡大により、その実施が未定となっているものを含めて現時点での進捗を説明した。

本報告に関する質疑は、特に提起されなかった。

## 報告第2号 総合交通体系整備研究積立資金の運用実績

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により2021年度の総合交通体系整備研究積立資金の運用実績報告を行った。

本報告に関する質疑は、特に提起されなかった。

## その他の事項

2022年度定時社員総会を2022年9月16日（金）15時00分より行い、同日社員総会終了後直ちに2022年度第2回理事会を開催し、常勤理事年報酬額の承認の件について、審議することを伝えた。さらに2022年度第3回理事会開催日を理事・監事全員で協議したところ、2023年1月20日（金）15時30分より開催することを決定した。

## 9. 閉会

以上をもって本日のWeb会議システムを用いた2022年度第1回理事会は、通信状態に終始異状はなく、滞りなく議事が終了したので、議長谷口守は、14時43分閉会を宣し解散した。

上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は下記に記名、押印する。

以 上

2022年 8 月 29 日

公益社団法人 日本交通計画協会 2022年度 第 1 回理事会

代表理事 谷 口 守



代表理事 石 川 次 男



監 事 曾 田 祐 司



本議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

業務執行理事	石川雅康
事務局参事	柴崎慶一朗
事務局主幹	大溪はつみ

# 公益社団法人 日本交通計画協会 理事会出欠表

2022年08月29日開催

職名	氏名	出欠	備考
代表理事	谷口 守	出席	議事録署名人
代表理事	石川次男	出席	議事録署名人
業務執行理事	石川雅康	出席	
理事	岸井隆幸	Web出席	
理事	川畑信之	Web出席	
理事	飯塚義和	Web出席	
監事	曾田祐司	出席	議事録署名人



